

à l'avance と d'avance の差異に関する一考察

日本フランス語学会 第 351 回例会

2025 年 6 月 14 日 (土) 15:00-18:00

青山学院大学 青山キャンパス 15 号館 3 階 15308 教室

小金井菜々葉 (武蔵大学人文学部ヨーロッパ文化学科 4 年)

本発表は、フランス語前置詞句 à l'avance を、d'avance と比較することを通して論ずることを目的とする。これらの句は辞書において成句表現として記述され、同義として扱われることもある一方、これまでの先行研究によって差異が存在することも明らかになっている。例えば構文的な特徴として、à l'avance のみが trois jours à l'avance のような「時間を指示する表現 (une indication de temps)」との共起が可能であること、d'avance のみが c'est fichu / perdu / joué / plié d'avance といった表現を容認することなどが指摘されている。しかし、これらの共起制限がなぜ起こるのかという点に関しては十分な議論がなされておらず、より詳しい分析を行う必要がある。

本発表の流れとしては、はじめに先行研究の検討を行う。とりわけ à l'avance と d'avance の差異を「ずれ (décalage)」への観点の違いに還元している Bottineau et Do-Hurinville (2015) に注目し、この研究ではそもそも à l'avance や d'avance における「ずれ」とは何と何のずれなのかが明確に定義されていないことを問題点として挙げる。次に、à l'avance は何と何の「ずれ」を表しているのかという問いを出発点として発話の分析を行うが、その際前置詞が [X prep. Y] という形式における X と Y 間の関係を示す「関係辞 (relateur)」としての機能を持つことを考慮する。したがって本発表では [X à l'avance] という構造において、前置詞 à が関係づける X と、Y に値する名詞 avance がどのような性質を持っているかという観点から、à l'avance のずれを「事行 (procès)」と「基準点 (repère / localisateur de référence)」のずれであるという仮説を立て、「時間を指示する表現」と à l'avance の共起に関する解釈を行う。最後に、C'est perdu d'avance と Merci d'avance における d'avance が、なぜ à l'avance と交替できないのかということ問いとし、d'avance における「ずれ」の性質との差異を分析することで、à l'avance に関する仮説の検証を行う。

主要参考文献

- Bottineau, D. et Do-Hurinville, D. (2015) : « D'avance, par avance, à l'avance, en avance. Quels critères sémantiques et syntaxiques pour les «alternances prépositionnelles figées»? » *Scolia [sciences cognitives, linguistique et intelligence artificielle / revue de linguistique]*, La préposition "en" et les locutions à tête "en", 29, pp.115-134.
- Saunier, E. (2016) : « Contribution à l'étude systématique des oppositions entre les prépositions "à", "en" et "de" », *Faits de langues*, 48, pp.117-148.